

## 令和3年度 学校評価実施報告書

学校番号 59 学校名 千葉県立柏中央高等学校 課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>①授業評価アンケートの中で「ねらいや目標が明確である」の肯定的評価80.9%。重点教育目標に沿って全職員が授業実践に取り組んでいる。初任者・フォローアップ研修等の研究授業を実施。</p> <p>②小論文指導62名、面接練習135名、DVD講座申込97名(1年)、英語検定受験者数692名、合格者2級31%。ALT英語集中講座2日間実施(20名)。学校ホームページを活用し、生徒の日常生活を配信、緊急時の対応として一斉メールを逐次活用した。</p> <p>③部活動加入率：4月81.5%。(昨年度より上昇)</p> <p>④タイムカードによる毎月の出退勤時間の把握。超過勤務月80時間を超える教員は減少傾向。主な超過理由は、大会前の土日休日の部活動指導。</p> <p>⑤コロナ禍のためミニ集会・各種行事は実施できなかったが、可能な限り連携して実施した。</p> <p>⑥体育施設は毎月、その他施設の安全点検を学期に1回実施。要修繕箇所は随時改修。校内の不要物の撤去、一部トイレの改修、放送機器の交換等実施。学校評価「学習環境の整備」82.7%。</p> <p>⑦研修動画視聴等、複数回の不祥事防止研修を実施。</p>	<p>①引続き学力向上委員会を中心に教科・学年と連携し、学習における明確な目標の提示、評価等の工夫を進め、研修の充実を図る。良さを活かし伸ばす生徒主体の活動の推進。</p> <p>②指導内容の充実と職員負荷の分散。図書情報部による学校ホームページの更新を推進する。一斉メールの更なる有効活用。検定合格のための取組を強化。</p> <p>③入部の際の各部活動の状況説明や3年間を見据えた指導計画。部活動のガイドラインに従った毎月の活動計画の作成。</p> <p>④部活動のガイドラインの遵守や教員の意識改革と生徒・保護者の意向の理解を進める。</p> <p>⑤今後のコロナ禍の終息を待ち、ミニ集会、授業公開、柏王祭等の来校者による学校評価を積極的に取り入れる。</p> <p>⑥安全点検を継続。トイレ等校内の老朽化したの箇所の補修・改善を進める。</p> <p>⑦職員の同僚性の発揮。標語やポスター等の掲示と日々の呼びかけ。モラルアップ委員会活動の活性化。今後も適宜不祥事防止研修を実施。</p>
学習指導	<p>①7・12月に生徒による授業評価を実施、「授業に集中」90.3%、「家庭学習習慣」62.6%(いずれも昨年度より上昇)。学校評価「学力のつく授業が行われている」79.9%</p> <p>②管理職による授業観察を年2回以上実施し、授業後に助言。授業者は授業チェックリストを提出。</p> <p>③授業力向上を目指した他校への授業参観5名(小2・中2・特1)。</p> <p>④1・2年校内実力テスト3回実施、スタディーサポート活用。3年模試希望者：7回、延べ948名受験。模擬試験の分析に係る職員研修会を実施。</p> <p>⑤柏王ゼミ1月現在：1学期8講座、夏季休業中15講座、2学期7講座、3学期2講座開講。その他、英語検定補習を実施。</p>	<p>①学習指導計画・シラバスの充実と教科内の共通理解による評価の適正化。授業内容や導入・展開方法の工夫と各授業における明確な目標の提示。次年度入学生からの新教育課程の見直しと新たな評価方法の実施と検証に取り組む。</p> <p>②学校内外への授業公開の機会を増やし、教科会を活性化し、全職員の授業力向上を図る。</p> <p>③他校を参観する若手教員を増加させるとともにアクティブラーナーの活用を促進。</p> <p>④学力向上委員会・進路指導部を中心に分析結果の課題に対する具体的方策を各教科で検討・実践する。スタディーサポートの有効活用を継続。</p> <p>⑤基礎科目の柏王ゼミの安定開設。夏季休業中等の部活動との実施時期の調整。</p>
生徒指導	<p>①担任が年間2回程度生徒面談を実施。6月に保護者面談を実施、保護者の都合により休日にも実施。</p> <p>②12月にセクハラ・体罰アンケートを実施。聞き取りを丁寧に行い解決につなげる。学校評価「セクハラ・体罰防止に関する体制」92.1%。</p> <p>③思いやり登校違反者の増加、遅刻者数は減少。登下校時の交通マナーに関する苦情がある。学校評価「ルール・マナー、基本的な生活習慣」生徒88.7%、保護者95.9%。</p> <p>④特別支援・教育相談委員会を学期に1回、ケース会議やミーティングを随時実施。スクールカウンセラーによる講演会を実施。</p> <p>⑤整容指導を各学期始めに1回実施。</p> <p>⑥地震を想定した全校避難訓練及びワンポイント危険回避の訓練を実施。全校で救急救命講習を実施。</p>	<p>①ゆとりある生徒個別面談や保護者面談期間の設定。</p> <p>②一人一人を大切に敬う態度の醸成。セクハラ・体罰について具体的な注意喚起。定期的な生活アンケートの実施、SNS利用等多様な相談体制の周知。</p> <p>③交通ルールの遵守とマナーや思いやりに関する指導の強化。職員自らが模範となって実践。</p> <p>④課題を抱える生徒に係る担任や学年職員の共通理解と指導方法を研修。スクールカウンセラーや関係機関有識者による研修会の実施。</p> <p>⑤生活指導方法や内容の改善・見直し・共通理解。ルール作りに生徒も参画する。保護者と協力し合えるように職員への指導を徹底。</p> <p>⑥実効性のある危機管理や危険回避、人命救助等を学ぶ機会を確保。地域ふるさと協議会や避難区域住民との連携と県立学校の運営方針の共通理解。</p>
キャリア教育	<p>①進路ガイダンス実施(生徒向け：1年1回、2年3回、3年4回)。外部講師を招いた1・2年保護者対象進路説明会、3年保護者は三者面談を実施。</p> <p>②進路指導部による近隣事業所等へのインターンシップ：19名(1年)、5名(2年)参加。</p> <p>③学校評価「生徒の希望や適性を生かす進路指導」生徒85.2%、保護者82.1%。</p>	<p>①職業理解等の様々なテーマに関する確実な情報提供と進路説明会を実施。生徒の進路希望に合わせた行事や学習機会の提供と個別対応。</p> <p>②高大接続に係る情報共有と職業選択に係る適性や能力を育成するキャリア教育の充実。</p> <p>③職員間の情報の共有化と蓄積。連携・協力意識の強化。全職員で本校の進路指導方針の共通理解。</p>
地域連携	<p>①インターンシップ参加。吹奏楽部：地域福祉施設で演奏。科学部・書道部：夏休み子ども教室実施。</p> <p>②防災・防犯活動への協力(柏駅周辺校外補導、地域防災推進連絡会議「地域防災研修会」実施)</p>	<p>①コロナ禍の終息を見据えて、次年度以降、関係各所で地域連携行事の更なる活性化に取り組む。</p> <p>②柏市や地域ふるさと協議会等との連携強化。ホームページ等での情報発信を推進する。</p>

(第3号様式-2)

自己評価・学校関係者評価・今後の改善方策の公表について、時期や公表方法を明確に記入する。	3月に本校ホームページにおいて、自己評価・学校関係者評価・今後の改善方策を公表する。
--	--

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善策)
学校経営	①コロナ禍の状況で、学校はできることをしっかり取り組み成果を上げている。学校評価アンケートの集計結果では、学習指導をはじめとして各項目に対し、生徒、保護者とも概ね高い評価を得ている。引き続き生徒のために、教育活動を充実させるよう取り組んでほしい。 ②ホームページは頻繁に更新されており、学校の情報発信は活発に行われている。 ③④部活動の指導において、先生方は大変熱心に指導している。加入率の上昇は頼もしい。ただし、先生方の業務改善の観点から、部活動の計画的な休みや下校時間の徹底を図るなど、職員の働き方に関して考慮が必要である。 ⑤コロナ終息後の行事の活性化が望まれる。 ⑥安全点検は適切に行われている。 ⑦信頼される教職員であるために、今後も研修にも積極的に取り組んでほしい。	①授業評価アンケートは今後も継続し、授業改善に繋げる。次年度入学生からの新教育課程に関連する様々な対応について学力向上委員会を中心に検討を進める。生徒の良さや学校の魅力を更に高められるよう職員が一丸となって取り組んでいくよう指導する。 ②学校の様子を保護者や地域の方に知っていただくよう、今後もホームページの更新を積極的に行う。 ③④文武不岐の理念の上に立った、生徒主体の効果的・効率的部活動の運営をガイドラインに基づく年間計画の遵守及び教員の意識改革によって推進し、併せて教員の働き方改革を押し進める。 ⑤行事の充実には生徒・保護者からも重要視されており、教育活動の中でも重要項目と捉えて取り組む。 ⑥安全点検を継続。危険箇所へは迅速に対応する。 ⑦職員の同僚性を重視し、不祥事も他人事とせず自分事ととらえる研修を実施する。
学習指導	①②学習への取組に関して、生徒は大変真面目によくやっている。授業評価アンケートの集計結果から「授業に集中」の肯定的回答が9割を超えており、高く評価できる。また、授業改善についても先生方はよく取り組まれている。ただし、同アンケートで「家庭での学習習慣」の回答が全体的に低いのが気にかかる。 ③小中学校等にも若手を中心に授業を見に来てくれた。お互いの交流をさらに進めてほしい。 ④⑤学力向上に向けて様々な取組が行われている。特に、英語検定は受検者も多く、補習等も行われ、成果が上がっている。柏王ゼミについては、部活動との両立が難しい面もあるように思われる。	①②授業内容や導入・展開方法の工夫など授業改善の取組は進められている。教科内共通理解による評価の適正化、新教育課程の新たな評価方法の実践等、今後注意して取り組んでいく。今年度、多くの授業においてICTを活用した授業が実践されてきたが、次年度からの「GIGAスクール構想」に対応するべく、生徒のスマートフォン等を使用した授業についての研究が必要である。生徒の自宅学習時間については、学校の授業との連携を図りながらClassiによる課題の配信も進める。 ③他校種との交流では、刺激を受けることが多く、若手を中心に積極的に公開授業に参加させる。 ④⑤引き続きこれまでの学力向上の取組を促進し、実効性あるものとなるよう逐次検証していく。
生徒指導	①②④教育相談や生徒アンケートの実施により、生徒理解、いじめ防止等の取組は大変充実しているようだ。学校評価アンケートでもこの点についての評価は非常に高く、生徒が安心して通える学校だと思われる。今後も継続してほしい。 ③⑤生徒たちは大変真面目な良い子たちばかりで、登校時の姿に自信と誇りを感じる。近隣に小中学校もあるので、ぜひ今後も先輩として模範になる生徒に成長して行ってほしい。学校のルールの見直しについては、生徒も参画したものとなるよう取り組んでもらいたい。 ⑥安全教育・防災教育は適切に行われている。地域と協働での防災行事の実現も望まれる。	①②④年度初めなどに、いじめなどの人権侵害からお互いを守ることで、相互尊重の精神、挨拶や規律ある集団形成など生徒指導の目的を明確かつ分かりやすく説明し、生徒が主体的に生活態度の改善や規律を守るよう工夫する。また職員は、生徒の良さを引き出し伸ばすために、個々の生徒理解と研鑽に努め、模範となる言動を心掛ける。 ③⑤納得される生徒指導を実践する。ルール作りには生徒・保護者の意見を取り入れる機会を設ける。真面目で素直な生徒が多いが、自ら主体的に考え行動できる力を育む生徒指導が求められる。 ⑥高校生として、災害発生時に適切な対応ができるよう、普段から安全に対する意識を高めていく。
キャリア教育	①②③進路ガイダンス、個人面談、保護者対象進路説明会など、入学から卒業までの3年間を見通した計画的な進路指導が行われている。学校評価でも進路指導に対する評価は高く、生徒の進路希望の実現に向けた先生方の指導がしっかりなされている。 職業観・就業観を高めるインターンシップの取組は、地域と繋がる良い機会でもあるので、今後も積極的に取り組んでほしい。	①②③現在行っているキャリア教育に関する様々な取組は、今後も継続して行うとともに、その取組が形骸化しないよう指導内容を検証していく。また、総合的な探究の時間等を活用してSDGsなどの現代的な課題について理解を促進し、広く社会への貢献について考えさせることで、生徒の勤労観・職業観・進路意識を高める。 インターンシップについて、地域の受け入れ先を開拓し、参加者増を図っていく。
地域連携	①②今年度もコロナ禍ということもあり、生徒は地域ボランティアなど、例年に比べて参加者が少ないのは残念である。ぜひ今後も地域との繋がりを強めるためにも地域連携行事に積極的に参加してもらいたい。	①②地域の課題や地域の良さについて生徒が考え学ぶ機会を、今後の教育活動の中に増やしていく。本校の教育活動を活性化し、アピールするための重要な活動として地域連携を推進する。